

Mobile MIMASの携帯端末と特徴

高速画像転送

CDMA X1とWIN
端末を用いることにより
短時間で画像転送が可能。
伝送速度 下り最大2.4M
bit/秒

CT画像1枚あたり1～
2秒

高画質・高圧縮

静止画像符号化の国際基
準であるJPEG2000を用い
て医用画像を圧縮。(従来の
JPEGの2倍以上の圧縮
効果) 高画質医用画像の
高速画像伝送が可能。



※KDDI資料より一部改変

市民病院では、救急患者さ
んに行った頭部のCT画像を
携帯電話を用いて、病院外に

いる脳神経外科医師が閲覧で
きる態勢をとっています。こ
れによって異常の見落としや
誤診の危険性が
減少し、早期診
断、早期治療が
可能になってい
ます。

緊急時は院外でも頭部 CT画像診断を行います

病院新聞

さくら

No.10

平成20年

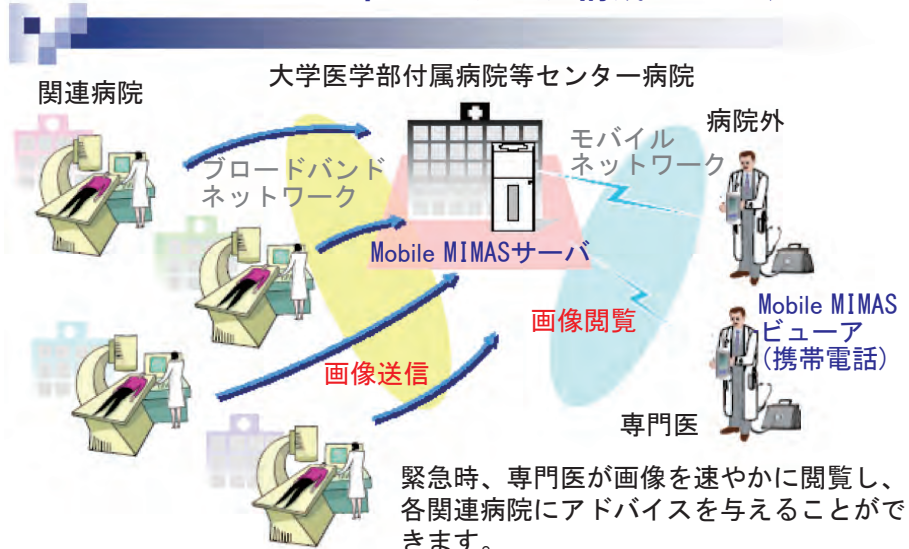
第2号

春日井市民病院

このシステム
では、市民病院
の3名の脳神経
外科医常勤医が
各自携帯電話端
末を持ち、必要
なときに自分の
パスワードで名
古屋大学内のサ
ーバにアクセス
できます。デー
タは高速で伝送
されるので、C

T画像を閲覧す
るのに通常1分
かかりません。
救急外来患者
さんの頭部CT
画像は、まず初
期診療担当の医
師が指示を出し
て読影します。
もし読影に悩む
ような症例に遭
遇したときには、
即座に画像をサ
ーバに伝送して、
脳神経外科医に
よる診断を受け
ることが可能で
す。このため、
以前のように、
頭部CT画像の
読影のためだけ
に夜間緊急出勤
する必要がなく
なりました。

Mobile MIMASネットワーク構成イメージ



※KDDI資料より一部改変

平成19年には、3万664
1名の時間外救急患者のうち、
頭部CTスキャンは2539
例行い、画像伝送を行ったの
は、70回でした。
システムの安全性について
は、専用ネットワークの利用
やサーバーへのアクセス管理の
導入などの対策を行っている
ため、医療情報や個人情報な
どが外部に漏れることはありません。
携帯電話端末を用いた医用
画像高速伝送表示システムの
導入によって、救急外来の初
期診療医による、頭部CT画
像の誤認や見落としが避けら
れ、患者さんを守る一つの手
段として大変有効です。

脳神経外科 桑山直人

狭心症・心筋梗塞の 治療と予防について

狭心症・心筋梗塞とは

心臓に血液を送る動脈は冠動脈と呼ばれます。狭心症はこの冠動脈が細くなり、血流が低下した状態です。また、心筋梗塞は冠動脈が閉塞して心筋への血流が遮断され、心筋が壊死（えし）した状態です。いずれも生命にかかわる重大な病気です。

症状

主症状は胸痛です。特に強い胸痛が起きた場合は、速やかに（救急車で、夜間でも）医療機関へ受診する必要があります。

治療

狭心症の治療は、薬物療法や、手首や足の付け根（ソケイ部）の動脈から管（カテーテル）を挿入して狭くなった冠動脈をバルーン（風船）やステント（筒状の金網）で拡張する経皮的冠動脈形成術、新しく血管をつなげる冠動脈

バイパス手術があります。治療は患者さんのそれぞれの病状に合わせて選ばれます。突然冠動脈が閉塞して起こる急性心筋梗塞の治療は、緊急を要するので経皮的冠動脈形成術を行い、閉塞した冠動脈をなるべく早く再開通させること（再灌流療法）が重要です。

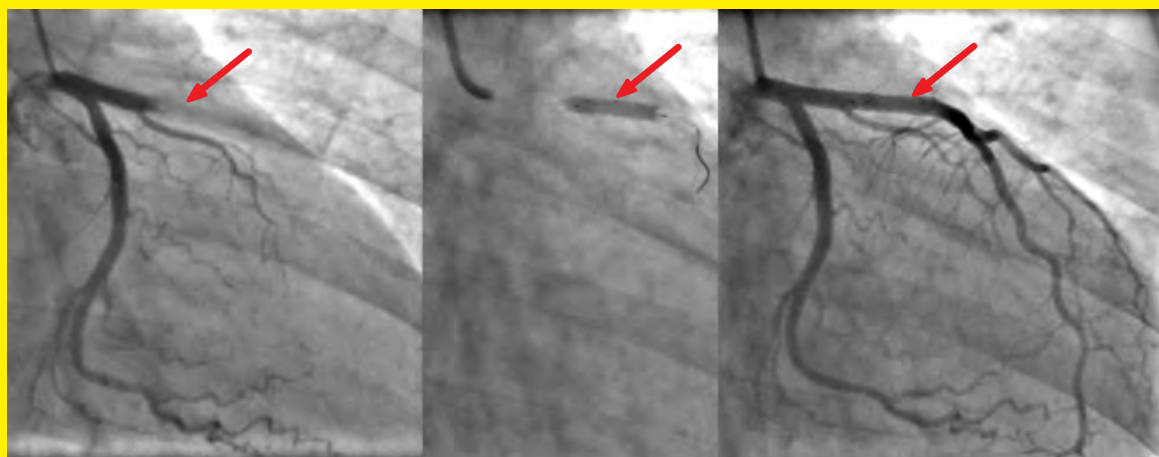
狭心症・心筋梗塞の予防

狭心症や心筋梗塞を起こしやすくする危険因子（冠危険因子）として、喫煙、高脂血症（血中コレステロールや中性脂肪が高い状態）、高血圧、糖尿病、肥満などがあげられます。最近話題のメタボリック症候群も危険因子の1つです。

狭心症や心筋梗塞の予防は、これら危険因子の予防治療（食事療法、運動療法、薬物療法など）になります。詳しくは、皆さんの主治医に相談してください。

循環器科 寺沢彰浩

急性心筋梗塞に対する緊急経皮的冠動脈形成術による再灌流療法



閉塞した冠動脈が再開通されている。（矢印）

狭心症・心筋梗塞の危険因子

1. **たばこ喫煙**
2. **高脂血症** ・ ・ ・ 総コレステロール220mg/dl以上 LDL-C 140mg/dl以上
HDL-C 40mg/dl未満 中性脂肪150mg/dl以上
3. **高血圧** ・ ・ ・ 140/90mmHg以上
4. **糖尿病**
5. **肥満** ・ ・ ・ BMI [体重(kg)/{身長(m)の二乗}] = 25以上
かつウエスト周囲径男性85cm以上・女性90cm以上

冠動脈バイパス手術のお話

狭心症や心筋梗塞の治療として、薬物療法、カテーテルによる治療と並んで、冠動脈バイパス手術があります。

冠動脈バイパス手術というのは、道路のバイパスと同じで、血管内部が細くなり血液の流れが悪くなっている冠動脈に対し、迂回する道を作って流れをよくする手術です。国内では、年間約2万人の患者さんが冠動脈バイパス手術を受けています。しかし、

ここ2・3年は、カテーテル治療で使うステントに長期間持ちこたえる物が現れ、血管の拡張によって血流を回復させる例が増えたため、若干減少傾向にあります。

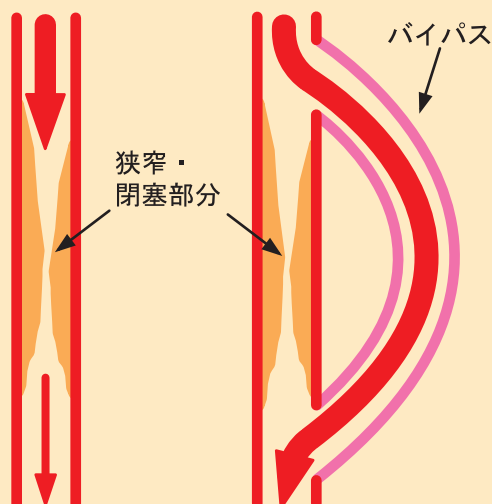
バイパスに使う血管としては、肋骨の裏側にある内胸動脈、腕の橈骨（とうこつ）動脈、あるいは足の静脈などがあり、これらを利用して、冠動脈の末梢まで血液が行くように縫い合わせます（吻合と

いいます）。術後の一時不安定な時期を乗り越えれば、退院後は通常は旅行などに行っていたことも可能です。

患者さんは循環器内科で検査の後、冠動脈バイパス術の必要性があれば、当科（心臓血管外科）を受診していただくわけですが、何でもお話をさせていただきますのでお気軽に受診してください。

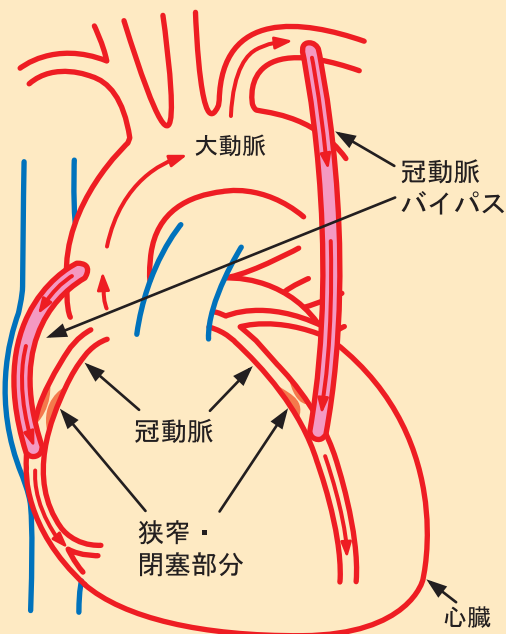
前心臓血管外科医 増本 弘
（現名古屋公立病院医）

血管バイパスのイメージ



バイパス部分を経由して血流を回復

冠動脈バイパス手術のイメージ



皆様のご意見ご要望にお答えします

ご意見
飲み物やお弁当が
食べられる場所は
ありませんか

売店で、飲み物やお弁当を購入して食べられるスペースがあるとありがたいです。

市民病院から

市民病院には、ご意見をいただきました食事などをするためのスペースは、専用の場所として設けておりません。売店で購入した飲み物や弁当などを食べられるときは、売店を出てすぐ左側の中庭と、薬局待合横の中庭に、いすやテーブルが設置してありますので、ご利用ください。

また、2階から7階の、東西病棟をつなぐ通路の南側にはデイルームがあります。そこにも、いすやテーブル、給茶器などが設置してあります。併せてご利用ください。

病院ニュース

新人看護師研修

4月1日～5月16日の間、新人看護師の研修が行われました。
最初の週は、市民病院の紹介や看護のあり方などを全員で聴講し、2週目からは実技研修に入りました。新人看護師は5～8人のグループになって、注射・酸素投与・輸液管理・心電図モニターの観察・病院システムの操作などを学びました。
師長や主査看護師の熱心な指導のもと、新人看護師は真剣な面持ちでシステムや器械を操作したり、疑問点について質問したりして確認していました。



今回の研修に参加した小林さんの感想です。

私たちは、とても恵まれた環境で研修ができたと思います。6人程度のグループで行うので質問しやすく、その場で疑問を解決できました。また、実際の病棟で行ったので、イメージしやすく、すぐに実践できることで、技術を習得できました。

東7階病棟 小林千花

清掃活動

5月20日(火)、市民病院周辺で清掃活動が行われ、病院職員ら150人が参加して、ごみ回収や草抜きをしました。



市民病院の主な行事

七夕会

7月2日(水) 13:30～15:00

西2階病棟

7月8日(火) 14:30～15:30

西5階病棟

7月9日(水) 15:00～16:00

東5階病棟

ハワイアンショー

8月2日(土) 14:00～14:30

1階中央ホール

ホームページ <http://www.hospital.kasugai.aichi.jp>
問い合わせ 春日井市民病院(☎57-0057)へ